**新世代育成基金運営管理基準**

**目的**

次世代への最大課題である新世代の育成を目的とし、新世代育成基金を設けて顕著な新世代育成活動を行った地区内ロータリークラブに活動補助金を支給することを目的とする。

**新世代育成基金特別委員会の設置**

１．地区内ロータリークラブにおける新世代育成のための活動に対し補助金支給を審査すると共に、新世代育成基金を管理するために新世代育成基金特別委員会（以下「委員会」という）を設置する。

２．この委員会は随時ガバナー補佐会議開催日に開催して、補助金支給審査および補助金対象活動結果検証を行う。

３．この委員会は、新世代育成基金への拠出について検討する。

４．この委員会は、2016年より5年間継続実施する。（5年ごとに見直しを実施する）

**基金への拠出**

新世代育成基金への拠出は、財務委員会と協議し地区資金会計剰余金から必要に応じて拠出する。

**対象活動**

新世代（原則中学生以下）の子供たちの教育（知育・徳育・体育）において、特に心の教育（徳育）に顕著な貢献活動（活動事業は地区内外を問いません）を計画しているロータリークラブの奉仕活動（以下「本奉仕活動」という）であること。

**対象者**

１．国際ロータリー第2650地区内ロータリークラブ。

２．ロータリアンが直接事業に関わり、本奉仕活動に貢献していること。

３．当該年度の地区財団補助金受領事業は対象としない。

４．継続事業は原則対象としない。

**申請手続**

１．申請は、毎年度各クラブ１事業とする。

２．申請書は、担当ガバナー補佐へ提出後、ガバナー事務所に提出する。

３．申請書は、原則7月末日または1月末までに提出する。ただし、年度当初に奉仕活動を実施する等委員会審査に間に合わない場合は､本奉仕活動を実施する3か月前までに提出する。

（委員会審査は、8月、2月に実施する。）

**申請書類**

申請につきましては、以下の書類を提出する。

　１）新世代育成基金補助金申請書

　２）事業計画書

　３）予算書（資金計画）

**補助金額**

１．補助金総額は、年間200万円程度とする。

２．ロータリアンのための費用は、補助金の支給対象外とする。

３．クラブに対する補助金額は、次のいずれか小さい金額をもって支給額とする。

* クラブ当り最大20万円を限度とする。
* 予算額からロータリアンのための費用を減じた金額の50％

４．クラブの自己資金拠出額は、予算額の50％以上とする。

**審査基準**

申請に対して以下の事項について審査し、補助金支給の有無を決定する。

１）本奉仕活動が、地域のニーズに応えるものであり、かつ、将来に渡って地域への貢献が期待されること。

２）できるだけ多くのロータリアンが本奉仕活動に積極的に関わること。

３）本奉仕活動を実施するにあたり妥当な計画および予算であること。

４）本奉仕活動実施後一ヶ月以内に最終活動報告書および領収書等を添付した決算書類を提出できること。

**支払時期**

１．委員会は､審査のうえ補助金支給が決定次第、補助金支給額を指定口座に振り込む。

２．補助金支給が決定したクラブ名および本奉仕活動名（対象事業名）は、地区ホームページまたはガバナー月信で発表する。

**活動報告**

１．本奉仕活動の終了後１ヶ月以内に、ガバナー事務所へ最終活動報告書、支出明細書、領収証を提出すること。

２．委員会から本奉仕活動の結果を検証するため追加資料等の請求が行われた場合は、応えなければならない。

３．期限までに最終活動報告書等の提出がなされない場合は、補助金の返還を求めることがある。

**附則**

本「新世代育成基金運営・管理基準」は2016年4月17日より施行する。

以上

新世代育成基金補助金申請書

１．クラブ名　　　　　　　　　　　　　　　　　　ロータリークラブ

２．奉仕事業：

　　実施場所：

　　実施期日：　　　　年　　　月　　　日 ～ 　　　　年　　　月　　　日

　　事業内容：

３．この事業は、地域に対してどのような貢献を期待されていますか?

４．この事業の成果に何を期待していますか?

５．この事業は、どのような将来的影響を期待していますか?

６．この事業に何名のロータリアンが参加されますか?

７．この事業をどのような方法で一般の方々に広報しますか?

８．資金計画

　　　（９．の予算合計額と同一額であること。）

|  |  |
| --- | --- |
| ク　ラ　ブ　拠　出　金　額 |  |
| そ　 の　 他　 の　 資　 金 |  |
| 補　 助　 金　 申　 請　 額 |  |
| 合　　　　　　　　計 |  |

９．予算

　　　この事業の詳細な予算を適宜用紙に記載して下さい。なお、予算策定にあたって使用した証明書類がありましたら添付して下さい。

10．連絡担当者

　　　この事業の連絡担当者名を2名記載して下さい。

連絡担当者　　　　　　　　　　　　　　クラブ役職

住　　　所　〒

電　　　話　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ

メ　ー　ル

連絡担当者　　　　　　　　　　　　　　クラブ役職

住　　　所　〒

電　　　話　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ

メ　ー　ル

11．クラブ会長署名

　　　この事業が当クラブの活動として実施することが決定いたしましたので、ここに新世代育成基金補助金申請を行います。

　　　氏名　　　　　　　　　　　署名　　　　　　　　　　　　日付

**12．ガバナー補佐署名**

　　　氏名　　　　　　　　　　　署名　　　　　　　　　　　　日付